



～継続は力なり～

町田市立武蔵岡中学校
バスケットボール部通信
令和3年12月1日
No.24 顧問 久保田浩史



～公式戦の勝利と敗戦を受けて～

11月28日(日)鶴川中会場にて、新人戦2回戦が行われました。夏季大会で準優勝したチームとの対戦でしたが、21日(日)の勝利を受けて、シード校に勝つことだけを考えて練習に励んできました。<ゲームプラン①総得点30点台のゲームにしたい→そのために②確実なボール運び、オールコートマンツーマンプレスへの対策③攻撃をシュートで終え、セーフティ3人以上で速攻させない>を具体的なアクションプランとして考えながら当日を迎えました。ゲームプランとして、うまくいった部分もありましたが、なかなか得点に繋げることが出来ずに、力負けしたと認めざるを得ない試合だったと感じています。分かりやすい課題としてまず、得点力の向上<オフェンスのパターンを増やすこと。個々の1対1の技術+合わせの質をどちらも高めていく必要性を感じました>負けたことは悔しいことですが、負け=だめなこと、残念なこととしてはいけません。新チーム初の公式な大会で、接戦を勝利して喜びを分かち合ったこと、1週間シード校へ勝つことをイメージしながら対策を立てながら練習したこと、そして完敗したこと。すべてが現在のチームにとって必要な経験財産です。今後の活動に必ず生かしていきたいと思います。

<良かったところ>

- R・・・最後まで果敢に攻め続けた！自分が点を取るという気持ちと責任感が素晴らしい
- M・・・必死なDFと体を張ったルーズボール！1対1の質も上がっています、あとは、決めきる！
- R・・・セーフティの役割バッチリ！ノーマークの外のシュート決めることができたのは、まさに練習の成果！
- M・・・自分で攻める！シュートを打つという姿勢を最後まで持ち続けていました！公式戦初得点は近いよ！！
- O・・・ボールをつなぐという意識をもち、チームのために自分ができることを頑張り続けました！

<得点内訳>

R・・・16点 M・・・2点 R・・・2点 O・・・2点 合計 22点

<バスケノートの内容共有>

○良かったところ

- ・DFで相手の速攻で点をとられることが少なかった。
 - ・ボール運びでとられることがなかった。
 - ・セーフティを多くする方法をしっかりとできた。
 - ・とにかく1対1でゴールに向かおうとした。
 - ・最後まで気持ちさがらないようにプレーできた。
 - ・最後まで声を出し続けることができていた。
 - ・ルーズボールにしっかりと反応できた。
 - ・ボール出しを失敗しなかった。
- さらに良くなるために
- ・OFでパスが出せるのに出せていないことが多かった。
 - ・左ドライブをすることが少なかった。 ・るきにボールをもたせ過ぎないように、みんなボールを受けに行く。
 - ・練習でやっている2人の合わせをしっかりと実践できるようにする。
 - ・1回動いてもらえなかった後に、次の動き出しを行う。
 - ・3線のヘルプにしっかりと行く。 ・1線が遅れることが多かった。



この経験を2月の多摩大会へ